

第1学年通信

～ 明日も行きたい学校 会いたい友だち・先生 心待ちの授業 ～

笠縫小学校 第1学年 令和4年11月4日（金）

人権学習

『すてきがいっぱい みんなのいいところ』

1年生では、道徳科「みんなのいいところ」というお話で、自分のまわりには自分を認めてくれるすてきな友だちや家族がいることに気づき、みんなと一緒に楽しい学校生活を送ろうという気持ちを高めることをねらいとしました。自分にも友だちにもいいところがたくさんあり、だれもがそれを認め、自分を大切にすることはもちろん、友だちを自分のことのように大切にすることができる力をつけることを1年生で大事にしています。それが、だれもが幸せに生きる権利、人権を守る第一歩だと思っています。友だちやおうちの人に書いてもらった自分のいいところを見て、嬉しそうに花びらをはる姿がたくさんみられました。これからも、自分や友だちのいいところを認め合う集団作りに努めてまいります。お家でも、たくさん子どもたちの話を聞き、褒める機会をつくっていただくと嬉しく思います。

少しではありますが、子どもたちが学習を通して感じたことを載せさせていただきます。

- じぶんのいいところやともだちのいいところがしれて、うれしかったです。
- おかあさんにかいてもらって、ゆうきができました。
- これからも、ともだちをきずつけないで、なかよくしようとおもいました。
- じぶんがわからなかったいいところを、いっぱい見つけてくれてうれしかったです。
- いいところを見つけたら、ともだちがよろこんでくれて、わたしもうれしかったです。
- いいところをかいてもらって、こころがあたたかくなりました。
- パパやママやともだちにいろんなことばのプレゼントをもらってうれしかったです。
- これからも、みんなのいいところを見つけていきたいです。
- これから、ともだちとなかよくできそうです。
- いいところを見つけてもらって、もっとげんきいっぱいがんばりたいです。

性教育「おたがいのからだを たいせつに

～「うみとりくの からだのはなし」～ 」

性に関する学習（性教育）として、「うみとりくのからだのはなし」（出典：遠見才希子 作 童心社）という絵本を用いて、学習しました。おたがいのからだを大切にするためには、どうすればよいかを考え、おたがいの体を尊重する態度や性犯罪から身を守る実践力を身につけることをねらいとしました。授業では、ふたごの兄弟「うみ」と「りく」は、よく似ているけれど、感じ方が全然ちがいます。「自分のからだにさわられたら、どんな気持ち？」「プライベートパーツってどんなもの？」「もしもプライベートパーツをさわられそうになったらどうする？」の3つの観点で、話し合いました。今回の学習のポイントは、次の4点です。

1. 自分のからだにだれがどんなふうにあふれるかは、自分で決められること。
2. 相手のからだにあふれるときは、同意が必要なこと。
3. さわるのも見るのも自分だけの特別大事な場所、プライベートパーツについて知る。
4. プライベートパーツをさわられそうになったら、「いやだ」と言ってよいこと。大人に相談すること。

体と心に関することは、人それぞれであることから、「自分の気持ちを伝えることや、相手の気持ちを聞くこと」が大切だとまとめました。

ご家庭でも、折にあふれてプライベートパーツの大切さや自分の体を守る方法などについて、話題にさせていただき、自分や友だちの体を大切にできる人に育ててほしいと思います。

子どもたちの感想の一部を紹介させていただきます。

- じぶんのからは、さわっていいけど、人のからは、さわったらだめなのがありました。じぶんのが、だいじだとおもいました。
- プライベートパーツをしりました。じぶんだけのたいせつなところがあるってしりました。
- プライベートパーツは、じぶんにとってたいせつなばしょだから、「いや」とか「やめて」という。
- 人のプライベートパーツは、かってにさわったり見たりしないことがわかりました。
- りくくんとうみくんの気持ちをかえしました。人のものとじぶんのものをたいせつにまもることがだいじです。
- プライベートパーツは、かってにしゃしんをとったりじろじろ見たりしてはいけない。「いやだ」とか「にげる」ことをできなくてもわるくないよ。だめなことじゃないよ。
- じぶんの気持ちをいうことを、これからがんばりたいです。さわっていいかきくことがわかりました。
- みんなそれぞれの気持ちがあるから、おともだちがかってにきめるんじゃないよ、じぶんがきめる。